



小梅

平成29年11月30日

墨田区立小梅小学校

校長 荒井 令子

教育目標 ○思いやりのある子 ○深く考える子 ○たくましい子

あなたのヒーロー&ヒロインは、だれですか？

副校長 浅野 努

昨日（11月29日）、東京スカイツリーで開催された東京パラリンピックカウントダウンイベント〈みんなのTokyo2020 1000 days to go!〉のセレモニーを観てきました。小池 東京都知事や山本 墨田区長、多くのパラアスリートや関係者が見守る中、パラリンピックのシンボル「スリー・アギトス」の三色（赤・青・緑）にライトアップされた東京スカイツリーを目の前にして、1000日後の開会式を夢見て年甲斐もなく大はしゃぎしてしまいました。

「失われたものを数えるな。
残されたものを最大限に生かせ」

パラリンピック創設者
ルードヴィッヒ・グッドマン博士



スリー・アギトス

グッドマン博士の言葉にあるように、パラリンピック（パラスポーツを含む）の魅力の一つは、決して諦めず、困難を乗り越え、限界に挑む選手の姿にあります。

友人のパラアスリート、ブラインドサッカー日本代表の加藤 健人選手は、高校生の時に病気で徐々に視力が失われていく中で気持ちが落ち込み、一時は引きこもり状態になったといいます。しかし、ブラインドサッカーと出会い、自分を鍛え、今や日本のトップ選手になりました。

10月に渋谷で開かれたパラリンピック応援イベントでお会いした本校出身の漫画家・ちばてつやさんは、「（自身の描いた車いすラグビーの1枚の絵を基に）漫画を描くとしたら？」の質問に、「必ずその選手の影の部分を描くでしょうね。そして、そこから逆転していくストーリーにする。ヒーローとは、そういうものです。影があるからこそ、光が当たった時により輝きを増すのです。」と答えておられました。

たしかに、ちばさんの代表作『あしたのジョー』の主人公・矢吹 丈をはじめ、誰もが知っているスーパーマンやワンダーウーマン、孫悟空（ドラゴンボール）にルフィー（ワンピース）といったヒーロー&ヒロインは、強大な敵にやられても決して諦めず、不屈の精神力と限界を超えた技を繰り出して最後には大逆転します。

加藤選手をはじめとするパラアスリートと空想の世界のヒーロー&ヒロインは、案外共通点があるのかもしれませんが。そして、私はそんな「カッコイイ」部分に魅力を感じ、憧れているのかもしれませんが。

憧れる存在がいると、人は強くなれます。まだ、自分にとってのヒーロー&ヒロインが見つからない小梅っ子がいたら、パラスポーツを実際に観に行くことをオススメします。そこには限界に挑む選手の姿があります。ヒーロー&ヒロインに出会えます。パラリンピックまで、あと999日！



漫画家・ちばてつやさん
BEYOND FES 渋谷にて撮影

12月の生活目標 生活の決まりを守ろう

生活指導部

明るく元気な声で挨拶をする、時間を守って行動する、など、学校生活にはいろいろな決まりがあります。そうした決まりを守って安全に学校生活を送れるように日々指導しています。

また、12月25日（月）12時15分から一斉下校訓練「地域安全パトロール」を実施します。平素から、地域の方々やボランティアの皆さんの御協力のおかげで、児童の登下校の安全が守られています。今回も、地域・安全ボランティアの方々に見守っていただきます。児童にも感謝の気持ちを込めた挨拶ができるよう指導してまいります。

いじめ防止授業地域公開講座

生活指導主任 山口 勝代

11月18日（土）にミュージシャン、タレント、一般社団法人Eni je 代表、明星大学客員講師として御活躍の矢野デイビットさんをお招きして「キミの勇気がだれかを救う」というお話を伺いました。その中で、子供の頃に喧嘩をしたけれど、その友達が自分の過ちに気づき勇気を出して母親と一緒に謝りに来てくれたことで、デイビットさんは心が救われたことを話してくださいました。穏やかに話しかけてくださる様子に、子供たちはあらためて「勇気」について考えたようです。「勇気は自分のために出すものだと思っていたけれど、他の人の力にもなることが分かった。だから、正直に話をする。」と子供の感想文があり、思いやりの心が深まるのを感じま

3年社会科見学

3年担任 川村 準

11月2日（木）に社会科見学に行ってきました。皮革技術センター、産業・教育資料室きねがわ、東京慰霊堂、花王東京工場の3か所を見学しました。

皮革技術センターと産業・教育資料室きねがわでは、墨田区で長く続いている革の生産について学びました。また、小さい革にハートなどの模様を型抜きし、オリジナルのしおりを作りました。東京慰霊堂・復興記念館では、関東大震災や東京大空襲の様子や、慰霊堂に込められた思いなどのお話を聞かせていただきました。花王東京工場では、花王の歴史や商品の説明を受け、一般にも買える洗剤を作るまでの過程を知りました。今後の社会の学習につなげていきます。



音楽会

音楽科主任 櫻井 文子

11月25日（土）に音楽会が終わりました。大きな行事に向けて進んでいく過程は大変ではありますが、子供たちが真剣に頑張っている姿や、とぎれとぎれだった音がつながり重なり合っ

て素敵なハーモニーになっていく様子を見ることはとても楽しいものです。どの学年の子供たちも大変熱心に練習をしていました。休み時間にも、たくさんの子供たちが音楽室を訪れて時間いっぱいまで頑張っていました。きっと各御家庭でも、お子さんの頑張る姿をたくさん目にされたことと思います。

美しいハーモニーが実感できたとき、リズムにのって演奏する楽しさを味わえたとき、難しいフレーズを弾くことができるようになったとき・・・、子供たちはとても嬉しそうな、自信に溢れた表情をします。音楽会がそんな瞬間を目にさせていただける機会になったこと、嬉しく思います。

各学年 11月の様子

ひびかせよう

音と心のハーモニー

1年生

早く大きくなりたい！心を合わせて歌いました。



2年生

大きな魚になったぞ！



4年生

「君に見せたい景色」と、「海の声」
きれいなメロディーにのせて、届けました。



3年生

カスタネットを響かせる真剣な眼差し。



6年生

心を一つに演奏することができました。



5年生

サンバのリズムで会場を盛り上げました。

